

事業所名	でいじすまいる		公表日		令和7年2月1日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	6	1	・子どもの様子を見てそれぞれが対応できている	・職員間で声を掛け合い、バランスを調整することでよりスムーズな活動につなげていくようにする
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6		・視覚カード等を各所に取り入れている	・わかりにくい場所はないか、年度初めや新規児童利用時に確認していく
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7		・状況に応じ衝立を立て児童を守っている ・102部屋から101部屋に移動できる	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	5		・業務にあたるうえで新たな課題等出てきた場合、職員間で意見交換を行うようにしている	・時間の確保が難しい ・業務日誌や連絡ツールを活用していく
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		・その都度保護者の方に説明している	・結果を全職員に配布しミーティングを行うことで業務改善につなげていく
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	7			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7			
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	7			
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7			
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7			
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6		・半年毎にアセスメントとモニタリングを行い、保護者と本人のニーズに合わせた内容を作成している	・職員にも計画書の項目や内容について丁寧な説明を行っていく ・研修の機会があれば参加するよう促し、知識を深めてもらう
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6			・プログラムの立案が一部の職員に偏ってしまっている ・全職員が気軽に立案できるよう日々のコミュニケーションやミーティングでアイデアを募る
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6		・児童の状況に応じて柔軟なプログラムの実施を行っている	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	7			

	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7		・支援前に状況を確認している	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6	1	・常に不明な点等は確認している	・終了後の打合せを設ける機会がない為、後日に打ち合わせる事がある ・連絡ツールで個人や全体に発信し、気付きを共有できるようにしていく
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7			
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	6		・ガイドラインに沿った内容で、個々の特性や課題に合わせた支援を行っている	・職員にもわかりやすく情報を共有できるよう努めていく
関係機関や保護者との連携	25	子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6		・子どもたちの意見をなるべく聞くようにしている	・自由意見だけでなく選択型、多数決等様々な方法を用いて意思決定の支援を行っていく
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6			・職員にもわかりやすく情報を共有できるよう努めていく
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6			・職員にもわかりやすく情報を共有できるよう努めていく
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6		・保護者の協力を得て適切に行うことができている	・今後も学校、保護者にご協力いただけるよう信頼関係の構築に努めていく
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	6		・関連事業所からの持ち上がり児童が多い為、情報共有は密に行っている	・現時点で事例はないが、今後スポット利用の低学年児童が入所の場合、保護者の承諾を得て情報共有を行っていく
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	5			・現時点で事例はないが、保護者や進路先からの要請があれば対応していく
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	7			
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	7			
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	7			
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7			
保護者への説明等	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6			・職員にもわかりやすく情報を共有できるよう努めていく
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7			
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	7			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7			
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	5			・以前は行っていたが、感染症予防の観点から現在休止している。今後少しずつ再開していけるよう努める
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7			

非常時等の対応	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	6			・職員にもわかりやすく情報を共有できるように努めていく
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7			
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	6	1	・日頃から送迎時駐車場までの歩行訓練を行っており、近隣地域の方への接触時に大きな声で挨拶をしている	・今後どのようなイベントが可能か検討していく
	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7			
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7		・毎月訓練の実施をしている	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	7		・保護者の方たちと共有して対処している	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7		・保護者の方たちと共有して対処している	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7			
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7			
52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7				
53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7				
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	7				